

ギュスターヴ・ドレ挿絵『ドン・キホーテ』

*L'Ingénieux hidalgo Don Quichotte de la Manche / par Miguel de Cervantès Saavedra ;
traduction de Louis Viardot ; avec 370 compositions de Gustave Doré ; gravés sur bois par H.
Pisan, 2e éd. -- Paris : Librairie de L. Hachette et Cie., 1869*

CONTENTS

●文庫本を読んでみよう	2 頁
●流行り歌を聴いてみる (女性ヴォーカル編)	4 頁
●2024年度横浜図書館展示報告	5 頁
●洋書通信 洋書で見るアール・デコの美意識	6 頁
●図書館の所蔵資料紹介	
『チャールズ・ディケンズ全集』	
Dickens's works -- London : Chapman and Hall, 1850-	7 頁
●図書館からのお知らせ 今号の表紙 / 編集後記	8 頁

文庫本を読んでみよう

文庫本とは・・・

A6判(148mm×105mm)の出版物で装丁をそろえた紙表紙の軽装・廉価なシリーズのこと。「文庫」は叢書名としてよく使われ、その場合大きさはB6判、新書判等、色々だが文庫本とよぶときはA6判のものをさすのが普通である。値段を低く抑えるために可能な限り簡素な体裁にし、大量に普及させる目的で選ばれた出版形式である。 —JapanKnowledge Lib より



フランス・ハルス《本を持つ男の肖像》
1640-43

持ち運びが便利で手軽に読める小さな本「文庫本」は、歴史的名著から学術、小説など様々なジャンルの本があり、単行本では高価だった作品が文庫化され購入しやすくなっているものもあります。スマホの画面を眺めることが多い通学・通勤途中、たまには文庫本を読むというのも良いのではないのでしょうか。図書館で借りられる文庫本を紹介いたします。

岩波文庫

昭和二年七月創刊。あらゆるジャンルの国内外の古典、名著を収録する日本を代表する文庫本である。古典の普及を目的としてドイツの「レクラム文庫」を手本に多くの人を読めるよう、小型で安く買える本として創刊された。

パンセ / パスカル著；塩川徹也訳 -- 岩波書店, 2015-2016

請求記号：B081-2225.A,B,C-41 (横浜)

D081-2225.A,B,C-41 (MM)



新潮文庫

夏目漱石、太宰治ら日本文学や世界文学の名作が充実している。2024年にガルシア＝マルケスの『百年の孤独』を文庫で出版して大きな話題になった。

百年の孤独 / G・ガルシア＝マルケス著；鼓直訳 -- 新潮社, 2024

請求記号：B081-11916-13 (横浜)



光文社古典新訳文庫

2006年創刊。古典と呼ばれる有名な作品を現代的な訳で読みやすくするというコンセプトのもとに刊行が開始された。創刊年の9月に刊行された『カラマーゾフの兄弟』は大ヒットし、その翻訳の内容も含め話題を呼んだ。

カラマーゾフの兄弟 / ドストエフスキー著；亀山郁夫訳 -- 光文社, 2006

請求記号：B983-1-4-133 (横浜)

D983-1-4-106 (MM)



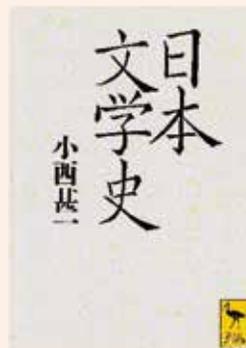
講談社学術文庫

1976年創刊。人文、社会科学の分野を中心に刊行している。国文学関係の名著も充実している。カバーの右下には古代エジプト神話で知恵の神とされた鳥「トキ」のマークが入っている。

日本文学史 / 小西甚一著 -- 講談社, 1993

請求記号: B081-1090-22 (横浜)

D081-1090-22 (MM)



ハヤカワ・ミステリ文庫

1976年創刊。海外ミステリの翻訳作品シリーズ。本図書館は創刊第一号のアガサ・クリスティ著『そして誰もいなくなった』から所蔵している。近年ではM.W.クレイヴン著「刑事ワシントン・ポー」シリーズが人気。

ストーンサークルの殺人 / M.W.クレイヴン著; 東野さやか訳
早川書房, 2020

請求記号: B081-1277-61 (横浜)

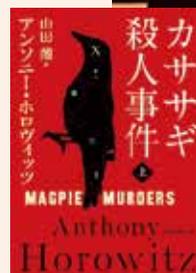


創元推理文庫

ミステリ・SF・ファンタジー・ホラーの専門出版社、東京創元社のレーベル。1959年に日本で初めてのミステリ専門文庫として刊行が開始された。A.ホロヴィッツの『カササギ殺人事件』など多くの人気シリーズを刊行している。

カササギ殺人事件 / アンソニー・ホロヴィッツ著;
山田蘭訳 -- 東京創元社, 2018

請求記号: D933.7-1,2-2144 (MM)



ちくま文庫、ちくま学芸文庫

「ちくま文庫」は、松岡和子氏による翻訳『シェイクスピア全集』が読める。

また、エッセイやサブカル系も多い。

「ちくま学芸文庫」は、ちくま文庫から独立した学術系の文庫で古典作品も多く収録している。

民藝図鑑 / 柳宗悦監修 -- 筑摩書房, 2023

請求記号: B081-YA.22.5~7-55 (横浜)



から騒ぎ / シェイクスピア著; 松岡和子訳 -- 筑摩書房, 2008

請求記号: B932-17-89 (横浜) D932-17-53 (MM)

今回紹介した以外にも図書館では文庫本を多数所蔵しています。閲覧室の書架を眺めていただくか、OPAC画面で「**文庫」と表示されている本を選んでご利用ください。



視聴覚資料紹介
流行り歌を聴いてみる
(女性ヴォーカル編)



近年 1970 年代や 1980 年代の歌謡曲があらためて注目されています。世代を問わず日本中で同じ歌を楽しんでいた当時、テレビでは多くの歌番組が放送され、大ヒットした曲は街中のどこでも流されていました。この時代の流行歌から今でも歌い継がれる名曲や伝説の歌手が誕生しています。

横浜図書館では録音資料を多数所蔵しており、図書館内で視聴することができます。その中から今回は当時の代表的なヒット曲を収録した音楽資料を紹介いたします。

ちあき なおみ

昭和 22 年生まれ。昭和 44 年「雨に濡れた慕情」で歌手デビュー。47 年「喝采」で日本レコード大賞を受賞するが、現在は歌手としての活動はしておらず伝説の歌姫と言われている。

歌手 / ちあきなおみ (5 枚組) テイチクエンタテインメント c2008,

請求記号 : R764.7-1~5-8

高橋 真梨子

昭和 24 年生まれ。昭和 47 年ペドロ & カプリシャスの 2 代目ヴォーカリストとしてデビュー、「ジョニーへの伝言」「五番街のマリーへ」などが大ヒットした。ソロ歌手としては「桃色吐息」など多くの曲で知られ、2024 年の紅白歌合戦にも出場した。

桃色吐息～黄昏人 / 高橋真梨子 ピクチャー音楽産業, p1986

請求記号 : R7A-111

藤 圭子

昭和 26 年生まれ。昭和 44 年「新宿の女」でデビューし翌年「圭子の夢は夜ひらく」で日本歌謡大賞、日本レコード大賞大衆賞を受賞した人気歌手。2013 年没。宇多田ヒカルの母親としても知られる。

圭子の夢は夜ひらく : 藤圭子 Hit collection, BMG Japan, p1999

請求記号 : R8D-7

中森 明菜

昭和 40 年生まれ。昭和 57 年「スローモーション」でデビューし、立て続けにヒットを飛ばした。当時からアイドルとしての人気に加えて優れた歌唱力が評価され、現在でもファンが多い。

Recollection : 中森明菜スーパー・ベスト(二枚組) ワーナーミュージック・ジャパン, p1998

請求記号 : R8A-171,172



横浜図書館では、他にも当時人気のあった歌謡曲など、多彩な音楽資料が利用できます。OPAC で気になるアーティスト名を検索してみてください。ご利用お待ちしております。

横浜図書館2階ギャラリーでは、通常ご覧いただくことの難しい貴重資料や地下書庫に収められその存在があまり知られていない興味深い資料を展示で紹介しています。2024年度の展示報告です。

《あれも本、これも本。- 図書館所蔵資料で見る

さまざまな書物の姿》(2024年4月-5月)

一口に本といっても時代や地域によってそれぞれに独自の歴史を持っています。展示では珍しい素材で作られた本やマヤ文明の冊子(複製)などを紹介し、多彩な変化を経てきた本の姿を紹介しました。



《元気のもとスポーツ!》(2024年6月-8月)

1601年刊行のメルクリアーレ著『体育論』や日本のラジオ体操の歴史を語る資料、神奈川大学の広報が掲載された1955年国民体育大会のプログラムなど人々を楽しませ、熱中させ、元気づけたスポーツの様々な姿を紹介しました。



《ヘルン先生と日本-ラフカディオ・ハーン没後120年》(2024年9月-10月)



『怪談』で知られるハーンは、14年間暮らした日本と日本人に関してその行動や精神性といった内面から理解を深め、日本文化を世界に広めました。2024年はハーンの没後、また『怪談』刊行から120年目にあたります。その偉大な功績を図書館所蔵資料で振り返りました。

《挿絵と文学》(2024年12月-2025年3月)

文学作品における挿絵と本文(テキスト)の関係には、様々な変化がありました。挿絵と本文のあり方に影響を与えた英国の作家ディケンズの作品や魅力的なキャラクターを生み出した挿絵など、英国ヴィクトリア時代の文学作品を中心に、魅力的な挿絵と物語で当時の読者達を楽しませた本を紹介しました。





洋書通信

洋書で見るアール・デコの美意識

「アール・デコ」とは、アール・デコラティブ（装飾美術）の略称。それ以前の流れるような曲線の特徴としたアール・ヌーヴォーのスタイルに比べ、幾何学的な形態、放射線など、機械を思わせるシンプルなフォルムに美意識を見出す、大量消費の時代に現れたスタイルである。

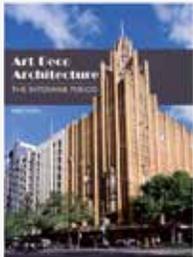


アール・デコ・シカゴ 現代アメリカのデザイン

Art Deco Chicago : designing modern America / edited by Robert Bruegmann ; in collaboration with the Chicago History Museum -- Chicago : Chicago art deco society, 2018

1920年代のシカゴとニューヨークはアール・デコ様式の摩天楼都市になった。ファッション、工業製品、様々な影響を300点以上の写真で解説する。

請求記号：C702.5-10（横浜）



戦間期のアール・デコ建築

Art deco architecture : the interwar period / Mike Hope -- Ramsbury : The Crowood Press, 2019

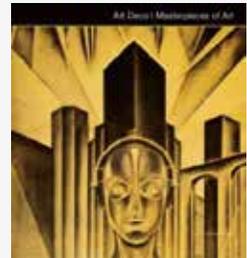
アール・デコ様式の起源や政治的背景まで、新しいメディアや交通手段とともに現れたこの様式を詳細な調査や多くの写真によって紹介する。

請求記号：C523.07-4（横浜）

アール・デコ

Art deco / Janet Tyson -- London : Flame Tree Publishing, 2018
ファッション、広告、グラフィックアートなど、アール・デコ様式のデザイン全てを楽しめる一冊

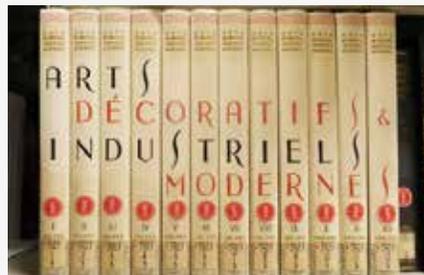
請求記号：C702-2（横浜）



1925年 現代装飾美術・工業美術国際博覧会図録集(復刻版)

Encyclopédie des arts décoratifs et industriels modernes au XXème siècle / Exposition internationale des arts décoratifs et industriels modernes 1925 Paris, France -- New York : Garland, 1977 (Reprint)

1925年にパリで開催されアール・デコ様式の呼び名の由来となった「現代装飾美術・工業美術国際博覧会」の図録集。本を並べると背表紙に博覧会の名称があらわれるデザインになっている。



請求記号：A750.3-3

チャールズ・ディケンズ全集

Dicken's works -- London : Chapman and Hall, 1850-

請求記号:A933-949(横浜地下2階書庫)

クリスマス・イブのロンドン、吝嗇で冷酷、無慈悲な老人スクルージのもとにかつて商売のパートナーだったジェイコブ・マーレイの幽霊が現れる。ジェイコブはスクルージがああの世に行っても自分のように悲惨な目にあわないようにするために、彼のもとに今夜精霊を送ると告げる。予言通り現れた三人の精霊はスクルージに彼の過去、現在、未来の姿－孤独な子供時代や奉公先での楽しいクリスマス・パーティー、使用人ボブの温かい家庭と病弱な子ども、そして未来にやってくる自分の恐ろしい運命－を見せる。スクルージは改心し、クリスマスを中心に楽しむ愛情深い人間に変わっていく。イギリスの作家チャールズ・ディケンズによる人間の慈悲と愛情と改心とを描いた小説『クリスマス・キャロル』のあらすじである。

チャールズ・ディケンズは1812年中流の家庭に生まれた。12歳の時、一家が貧困に陥り学校を辞めて働きに出たという経歴を持つ。この頃に経験した貧しさと大都市ロンドンで目撃した社会の暗部や弱者の悲惨な状況は、後の作品に反映されていると言われる。それでも厳しい生活の中、若きディケンズは大英博物館の図書室に通い本を読み漁り独学に励んだという。その後新聞記者になり、作家になったディケンズは数々の名作を生み出し、ヴィクトリア時代を代表するイギリスの国民作家とされている。



本書『ディケンズ全集』の出版者チャップマン・アンド・ホール社は、1836年モーニング・クロニクル誌で『ボズのスケッチ集』という連載記事を執筆していた新人作家のディケンズに新たな連載小説の執筆を依頼し、その後の作品のほとんどを刊行した出版社である。その連載小説『ピクウィック・クラブ』は、毎月一話ずつ刊行されるという月刊分冊の形式で刊行され大ヒットした。読者は物語がどう展開していくか次号の発売を心待ちにしていたそうだ。そして読者のもう一つの楽しみは本文に添えられた挿絵だった。ディケンズの活動期はイギリスで挿絵入りの文学作品が大きな人気を呼んだ時代でもあったのだ。

現在、文学作品の挿絵は文章に「添えられた」もので、主役はあくまでも文章の方であると考えられているだろう。しかし挿絵は文章の添え物ではなくむしろ主役だったという時代があった。その有名な例が画家T・ローランドソンの『ドクター・シンタックス』（1809年）で、この作品は作家W.クームがローランドソンの描いた挿絵に従って物語を作るという方法で制作されている。挿絵が「主」であり、本文の物語は挿絵に「添えられた」存在だったのである。『ピクウィック・クラブ』も、本来は挿絵が主となるはずだったが、新人作家ディケンズは文章こそが主役になるべきであるとその関係を変化させた。その変化は、後の出版にも大きな影響を及ぼし痛ましい事件も起きてしまった。しかし物語における挿絵の重要性を誰よりも良く分かっていたのもディケンズであった。それ故、挿絵画家にも多くの要求をしたと言われている。画家の中には、すでに有名画家だったジョージ・クルックシャンクや雑誌「ロンドン・パンチ」の挿絵で知られていたジョン・リーチ、『ピクウィック』を最初に、その後多くの作品に挿絵を描いた“フィズ”ことH.K.ブラウンなどがある。本書『ディケンズ全集』にはそれらの画家の挿絵が全て掲載されている。『オリヴァー・トウィスト』の「泥棒フェイギン」や『クリスマス・キャロル』の「フェジウィグ親方のダンス」、ユーモアたっぷりのピクウィック氏やサム・ウェラーの姿。当時の読者が目を輝かせて挿絵を眺め、物語を楽しんでいる姿が目につかぶ。あらためて挿絵の魅力に気づかせてくれる、貴重な作品集である。



(図書館事務部図書課 荏原 直子)

図書館からののお知らせ

横浜・みなとみらい共通

■春季長期貸出期限日

2025年4月8日(火)

- ・返却期限日までに必ず図書館に返却してください。
- ・延滞すると延滞日数分(最長2週間)貸出停止になります。
- ・資料を汚損、破損、紛失した場合は、規則により弁償していただきます。

■図書館を利用する際は身分証が必要です。

入館ゲートを通るとき、退館するとき、図書を借りるときに身分証が必要です。

■ガイダンス

4月、5月に利用ガイダンスを行います。ガイダンスの内容については図書館ホームページをご覧ください。

■盗難への注意

貴重品(財布、携帯等)は席を離れる時、必ず身につけてください。

■館内マナーを守りましょう

- ・飲食は禁止です。ただし蓋付の飲み物に限り水分補給ができます。
- ・飲み物は机の上に置かず、鞆にしまってください。
- ・喫煙禁止
- ・スマートフォン、携帯電話はマナーモードにして、通話をご遠慮ください。
- ・他の利用者の迷惑になる行為は慎んで、静かに利用してください。

■取り寄せ

他キャンパスの図書は、取り寄せて利用することができますので、OPACで所蔵館を確認して予約ボタンからお申込みください。

編集後記

横浜市民が愛してやまないものに崎陽軒のシウマイ弁当がある。崎陽軒の創業は1908年、当時は駅で餅や寿司を販売していたそうで、最初のシウマイ弁当は1954年に販売された。黄色の背景に横浜の風景が描かれた水晶玉をかかえる赤い龍。この掛け紙のデザインは三代目になるそうだ。

図書館に『明治・大正・昭和 駅弁ラベル大図鑑』(羽島知之編 国書刊行会 2014年刊)という本がある。これは駅弁が最初に売られた明治から昭和の戦中にかけて販売された日本中の駅弁のラベル(掛け紙)を集めた図鑑である。最初に販売された駅弁の中身はおにぎりや沢庵が竹の皮に包まれただけだったらしい。その後木材を薄く切った経木の折箱に色々な料理が詰められ、きれいに印刷したラベルがかけられるようになった。シウマイ弁当が誕生する前の横浜崎陽軒の駅弁ラベルも載っている。日本各地の駅で販売された駅弁のラベルを見るとかっこいいもの、レトロなもの、船や列車を描いて旅情を感じさせるデザインなど様々で、見ているだけで楽しくなる。当時手にした人も嬉しそうにお弁当のふたを開けたことだろう。

異様な雰囲気を感じさせるものが出てくるのが戦時に販売されたラベルのデザインである。そこにも戦争は色濃く反映されていた。「来るぞ空襲」「スパイ御用心」「撃ちてしまわむ」などの文字、銃を構えた兵士の姿やヘルメットの図柄。そんなデザインのラベルがお弁当を包んでいたのだ。駅弁の持つ楽しい雰囲気は、そこにはない。人々のささやかな楽しみまで台無しにされた時代。このようなラベルの駅弁が売られる時代が二度と来ないようにしなければ、と思う。

(N.E.)



今号の表紙

ギュスターヴ・ドレ挿絵『ドン・キホーテ』

L'Ingénieux hidalgo Don Quichotte de la Manche / par Miguel de Cervantès Saavedra ; traduction de Louis Viardot ; avec 370 compositions de Gustave Doré ; gravés sur bois par H. Pisan, 2e éd. -- Paris : Librairie de L. Hachette et Cie., 1869

スペインの作家セルバンテス著『ドン・キホーテ』は17世紀の初めに書かれ、文学史上最も重要な作品の一つとされている。ギュスターヴ・ドレによる挿絵は、最も有名な『ドン・キホーテ』の挿絵作品として多くの人に親しまれている。請求記号：A 963-1,2-1024.B (横浜 貴重資料)